

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【公開番号】特開 2004-179881 (P2004-179881A)

【公開日】平成 16 年 6 月 24 日 (2004.6.24)

【年通号数】公開・登録公報 2004-024

【出願番号】特願 2002-342536 (P2002-342536)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/91

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/907

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 5/91 J

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 19 日 (2004.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

続いて CPU 14 は、撮像部 10、信号処理部 11 及び A/D 変換部 12 を介して得られたデジタルビデオ信号 S3 をデータ圧縮伸長部 25 に送出する。データ圧縮伸長部 25 は、CPU 14 の制御下において、通常の被写体確認時（すなわち動画撮影時）には、デジタルビデオ信号 S3 をフレーム単位でフレームメモリ 26 に順次書き込むと共に、デジタル/アナログ（D/A）変換部 27 を介して所定方式（例えば NTSC（National Television System Committee）方式等）のコンポジット信号 S5 に変換した後、これを液晶モニタ 5 に送出する。これにより液晶モニタ 5 の表示画面にコンポジット信号 S5 に基づく動画像が表示される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

またユーザがプログラムデータ D5 に基づくアプリケーションプログラムをインストールすると、当該アプリケーションプログラムが実行された際に、ディスプレイ画面上に所定のアプリケーション画面が表示されると共に、シーン名に応じた撮影状況（すなわちシチュエーション識別情報 D6）ごとの画像ファイルが当該アプリケーション画面に関連付けられて表示される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

複数枚の画像数であるシーン表示欄 M 1 ~ M 5 について、ユーザによるマウス操作がなされると、当該シーン表示欄 M 1 ~ M 5 に含まれる全ての画像が所定サイズに縮小されたインデックス画像（図示せず）として一覧表示される。そしてユーザにより選択されたインデックス画像は、シーン名及び撮影枚数のみ表示された元のシーン表示欄に代えて表示することができるようになされている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0087

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0087】

一方、ユーザが所望のアプリケーションプログラムをインストールすると、当該アプリケーションプログラムが実行された際に、ディスプレイ画面上に所定のアプリケーション画面が表示されると共に、撮影状況ごとに画像ファイルが当該アプリケーション画面に関連付けられて表示される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

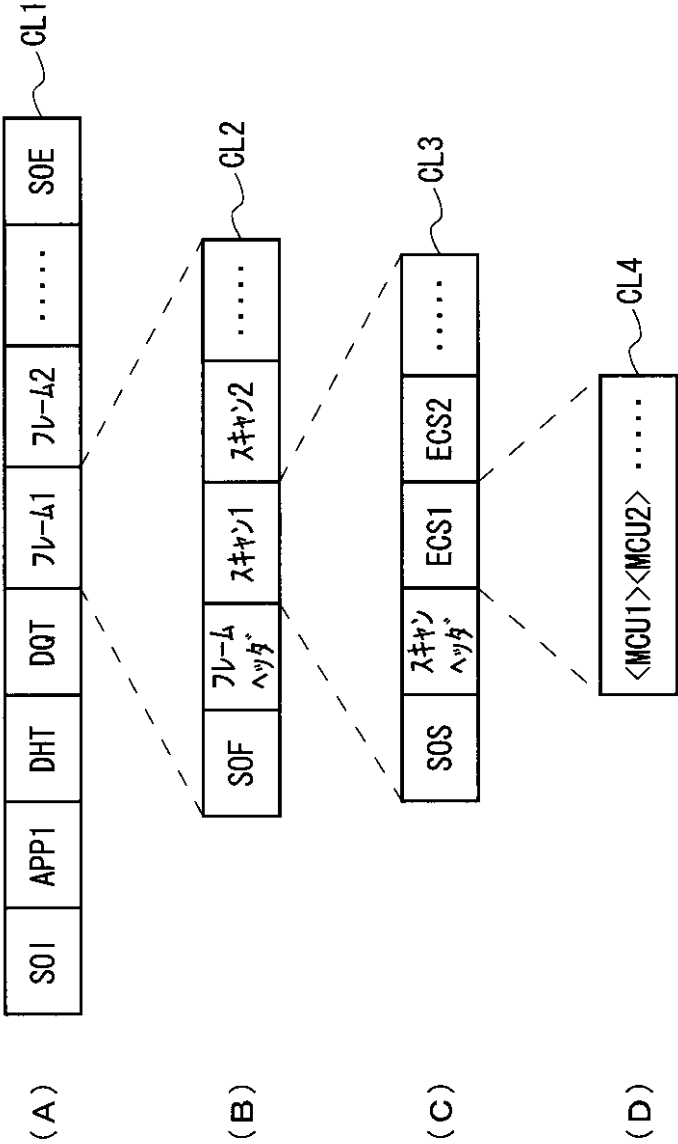


図 4 画像データのデータフォーマット